

# 現場説明書

1 業務名 長井ポンプ場耐震診断業務委託  
 2 監督員 技術部 下水道施設課

## 説明事項

### 1. 入札等に関する事項について

- (1) この業務の入札又は見積(以下「入札等」という。)は、業務委託契約書又は業務委託請書(以下「契約書等」という。)、入札公告又は指名競争入札執行通知書及びこの説明書に記載する条件により、横須賀市の上下水道局契約規程によりその例によることとされている契約規則、契約履行規則及び工事等検査規則(以下「契約規則等」という。)に従って行う。
- (2) 入札等後は、設計書、仕様書及び図面(この説明書及び質問回答書を含む。以下「設計図書」という。)、契約書等若しくは契約規則等の内容又は施行場所の状況について、不明等を理由として異議の申立てはできないので、入札等前に十分究明すること。

### 2. 前払金について

前払金 する しない  
 前払金を受けようとする場合は、その旨を申し出ること。

### 3. 部分払について

部分払 する(一回以内) しない

### 4. 継続事業に係る業務の各会計年度別支払限度額について

(1) 継続事業に係る業務の各会計年度における委託代金額の支払限度額及び前払金の割合は、次のとおりである。

会計年度	支払限度額 (委託代金額に対する割合)	前払金
初年度(年度)	%	支払限度額・委託代金額の%
第2年度(年度)	%	支払限度額・委託代金額の%
第3年度(年度)	%	支払限度額・委託代金額の%

(2) 各会計年度における委託代金額の支払限度額は、受託者決定後業務委託契約書を作成するまでに受託者に通知する。

### 5. 契約に関する事項について

#### (1) 設計図書関係

- ア 土木工事等の場合における工種別等の契約数量は、設計書の数量の内訳書に表示された数量による。
- イ 仮設、工法等工事目的物を完成するために必要な一切の手段については、設計図書に特別の定めがある場合を除き、受託者の責任において定めること。
- ウ 契約の締結にあたっては、契約書等に設計図書を袋とじし、割印をすること。ただし、図面が大型等の場合にあつては、別冊とすること。

#### (2) 提出書類関係

- ア 委託代金内訳書 要提出(契約締結後7日以内)  
提出不要
- イ 工程表 要提出(契約締結後7日以内)  
提出不要
- ウ 着手届 着手後5日以内に提出すること。
- エ 現場代理人及び主任技術者等届 契約までに現場代理人及び主任技術者等の経歴書も同時に提出すること。

- オ 下請負者届 下請負を発注の都度、提出すること。
- カ 直営工事届 下請負を発注しない又はその予定がない場合は、遅滞なく提出すること。

(3) 監督員通知関係

監督員を2人以上置くこととした場合において、権限を分担させるときは、各監督員の権限の内容を別に通知する。

(4) 支給材料、貸与品関係

ア 支給材料	あり	なし
イ 貸与品	あり	なし

(5) 条件変更等の関係

業務の施行に当たり、設計図書と現場の状態とが一致しないこと等の事実を発見したときは、単に事実関係のみでなく、設計図書の訂正に必要な資料、図面等を添付した書面で通知すること。

(6) 設計変更等の関係

必要により業務内容を変更する場合は、原則としてその必要が生じた都度契約変更の手続を行うが、軽微なものは監督員の指示により業務内容の変更を行い、これに伴う契約変更の手続は、履行期間の末に行う。

(7) 部分引渡し関係

部分引渡し指定部分	あり	なし
-----------	----	----

## 6. テクリスの登録について

受託者は、受注時、変更時及び完了時において委託代金額が100万円以上の業務について、測量調査設計業務実績情報サービス(TECRIS)入力システムに基づき、監督員に登録内容の確認を受けた後に、(一財)日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。

ただし、建築関係業務においては、対象外となる場合があるので監督員と協議すること。

また、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が受託者に届いた際には、直ちに監督員に提出しなければならない。

登録申請の期限は、次のとおりとする。

- (1) 受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内とする。
- (2) 完了時登録データの提出期限は、業務完了後10日以内とする。
- (3) 施行中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更データを提出しなければならない。
- (4) 変更時と完了までの間が10日間に満たない場合は、監督員の承諾を得て変更時の提出を省略できるものとする。

## 7. 下請負者について

下請負者を使用する場合には、市内業者を優先的に選定するように配慮すること。

## 8. 一括下請けの禁止について

受託者は、本業務の全部又は大部分を一括して第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。

## 9. 技術的事項について (別紙)

## 【耐震診断および耐津波診断】委託要領及び仕様書

### 1 委託業務の目的

下水道施設は、地震時においても機能を確保すべき重要なライフラインの一つである。本業務の対象建築物は、別添の対象施設のとおりである。「下水道施設の耐震対策指針と解説 2014年版（日本下水道協会）」（以下「指針」という。）に基づく当該下水道施設の耐震性能、耐津波性能について耐震診断（詳細診断）、耐津波診断、補強方法の提案、概算工事費の算出を行う。

### 2 委託業務の内容

#### (1) 耐震診断業務内容

##### ア 診断計画

##### (ア) 業務計画書の作成と提出

請負者は、委託契約後速やかに作業項目、手順および作業内容、実施工程、体制等について詳細な業務計画を立案し、次の各号に掲げる事項を明らかにした業務計画書を監督員に提出し承諾を受けなければならない。なお、現地調査に当たっては、必ず施設運用管理者の了解のもとに行うこと。

- ・主たる調査場所、方法、使用機器及び使用材料
- ・実施工程表
- ・配置技術者について
  - 1) 管理技術者は上下水道部門のうち下水道の技術士の資格を有している者
  - 2) 土木担当者は上下水道部門のうち下水道の技術士の資格を有している者  
尚、管理技術者と土木担当者は兼ねることができる。
  - 3) 建築担当者は一級建築士の資格を有している者  
(一級建築士取得後2年以上の耐震診断実務経験者)
  - 4) 照査担当者は構造設計一級建築士の資格を有している者
  - 5) 作業スタッフ（協力事務所、下請会社含む）にあつては、その氏名、及び、その業務経歴を事前に提出し承認を受けること。また、主に構造計算に従事する技術者は一級建築士取得者とする。
- ・必要となる協議内容および協議時期（工程表に記載）

##### イ 資料収集・整理

##### (ア) 関連資料の収集、整理

対象施設、構造物に関する地盤及び構造条件について、本市が提供する資料及びその他関係資料の収集を行い、整理するとともに調査の基礎資料とする。

## ウ 現地調査・確認

### (ア) 対象施設及びその周辺の地形等の整理

対象施設及び周辺の状況、地形等について、現地踏査による目視調査を行い、現状を整理する。なお、対象施設の調査範囲は脚立や梯子の設置により目視可能な範囲とする。

### (イ) 形状、寸法調査

構造物と構造図を現地で照合する。構造図がないものは、躯体寸法を実測する。

### (ウ) 配筋調査

監督員の承認を得て鉄筋探査機により、柱、壁等の配筋状況（ピッチ等）を調査し記録する。

### (エ) コンクリートコア採取

事前に鉄筋探査を行い、鉄筋位置を避けてコア抜きを行う。コアの径は土木部分が $\phi 100\text{mm}$ 、建築部分が $\phi 75\text{mm}$ 以上 $\phi 100\text{mm}$ 未満とする。なお、採取したか所については従前と同等以上の強度を発揮するよう修復し仕上げも同様とする。採取数は構造上の棟ごとに $\phi 100\text{mm}$ が1フロア3か所、 $\phi 75\text{mm}$ 以上 $\phi 100\text{mm}$ 未満が1フロア4か所とする。採取位置については、監督員と事前に協議するものとする。なお、配筋や部材厚さの状況により指定のコア採取が困難な場合は、監督員と協議する。

### (オ) コンクリートの圧縮強度試験

コンクリート構造物のコンクリート圧縮強度は、第3者機関により圧縮強度試験を行う。コンクリートコアの採取が困難な場合は、シュミットハンマー試験を行い推定圧縮強度を求める。

### (カ) 中性化深さ試験

鉄筋コンクリート構造物の中性化深さを測定する。中性化深さは、圧縮強度試験を行ったコンクリートコアの割裂により行う。コンクリートコアが採取困難なか所においては、はつりにより現地で中性化深さを測定する。なお、はつりか所については、従前どおりに補修する。

### (キ) 変状調査

目視により躯体コンクリートのクラック、遊離石灰、ジャンカ、漏水、漏水痕、鉄筋腐食等の状況、伸縮目地の劣化、損傷についても調査する。特記すべき状況があれば写真に記録し整理する。

### (ク) 地盤調査

施設、構造物周辺の地盤調査（資料調査等）を行い、診断に必要な土質データを収集する。

### (ケ) 調査結果整理、考察

調査結果を総合的に評価し、診断に適用する諸定数を設定する。また、調査結



果に基づき構造物の健全度に関する評価を行う。

(コ) 写真撮影

現況建物調査中、重要な工程及び建物全景等を写真撮影し記録する。

エ 耐震診断

(ア) 耐震計算入力要件の整理

診断手法は、基本的に「指針」に基づいて行うものとする。また、現地調査結果を反映させた適正な計算モデル化を行うこと。

(イ) 地盤耐震診断

地震応答解析に用いる入力地震動は、レベル1及びレベル2とするが、「指針」及び「道路橋示方書・同解説 V耐震設計編（日本道路協会）」に示された設計地震動や当地域の地震被害想定における想定地震などを基に監督員と協議のうえ定める。

(ウ) 構造耐震診断

現地調査結果を反映させた適正な計算方法を用いるとともに、以下のとおりとする。

・IV類の実施

複合構造物として、「指針」に基づいた耐震性能を確認する。

モデル化が困難な場合は、静的解析法・3次元有限要素モデル、動的解析法・有限要素モデル等比較検討を行い、監督員と協議のうえ適切な解析手法を選択する。

・土木構造物については、レベル1、レベル2地震動において耐震性能を確認する。「指針」による耐震性能2'の診断については本委託業務より除く。

・建築構造物については、現行の建築基準法に応じた構造の照査を行い、構造計算上必要となる機器荷重、開口位置・寸法の見直し検討した上で建築構造計算を行う。（重要度係数  $I=1.25$ ）

・建築非構造部材の耐震診断は、図面での確認と現地での目視調査により実施する。

オ 耐津波診断

(ア) 既存構造物の耐津波性能の検討項目

耐津波性能は、「最大クラスの津波」に対して区分を検討し、検討項目については、次を参考とし監督員と協議の上定める。

・「暫定指針」\*<sup>1</sup>及び「構造上の要件」\*<sup>2</sup>に基づき、以下の項目について検討を行うことを基本とする。

1) 荷重の組み合わせ

- 2) 浮力の算定
- 3) 耐圧部材の算定
- 4) 構造骨組みの設計
- 5) 転倒および滑動の検討
- 6) 洗掘の検討
- 7) 漂流物の検討

※1 『東日本大震災における津波による建築物被害を踏まえた津波避難ビル等の構造上の要件に係る暫定指針』（平成23年11月17日国住指第2570号）

※2 『津波避難ビル等の構造上の要件の解説、平成24年2月』

国土交通省国土技術政策総合研究所、一般社団法人建築性能基準推進協会、協力 独立行政法人 建築研究所

#### (イ) 耐津波計算入力条件の整理

対象建物の計画津波浸水深については特記仕様書を参照する。

耐津波診断を効率的に実施するために、既存の下水道施設の情報、防災に関する情報、地形地質に関する情報等を収集整理する（局提供）

#### (ウ) 耐津波診断

耐津波性能について定量的に評価する。

### カ 耐震・耐津波補強計画の策定

診断計画、資料収集・整理、現地調査・確認、耐震診断、耐津波診断の結果をもとに、対象施設の耐震性能、耐津波性能について総合的に評価し、補強対策、補修対策の必要性を判断する。なお、補強対策が必要であれば、委託業務における早期段階で、補強案の概算金額の算出を行う。

～補強対策概略検討について～

対策の概略検討では、対策工法（補修を含む）の比較検討を行い、概算工事費、工期を算出する。また、施設の運転管理状況、施設の休止や代替処理施設等の確保等、補強工事の実施にあたりどのような影響があるのか課題を整理する。

### キ 報告書作成

検討内容、計算結果、補強計画等を整理し報告書を作成する。

## (2) 照査

請負者は、業務を履行するうえで技術資料等の諸情報を活用し、十分な比較検討を行うことにより、業務の高い質を確保することに努めるとともに、照査担当者を定め段階的に照査を実施し成果品に間違いがないよう努めなければならない。照査の実施については、業務計画書に時期・内容を記載すること。

(3) 成果品の提出

提出書類については、「別紙：提出書類一覧」による。

3 資料の貸与

発注者は、請負者が業務を行うにあたって必要とする設計書等の資料を提供するものとし、請負者はその資料の管理については十分注意する。

4 請負者の心得

請負者は、重大な判断に関わる重要な立場にあることを自覚し、常に公正な態度を保たねばならない。また、本件の実施により知り得た情報を当局の承諾なしに他に漏らしてはならない。

5 その他

- (1) この要領に定めのない事項については、発注者と請負者が協議して定めるものとする。
- (2) 今年度の局における他の耐震診断業務委託と業務内容の整合を図るよう情報共有すること。

< 準拠図書 >

本委託業務の目的である耐震補強設計は、以下の図書に準拠して行うものとする。

- 「下水道施設の耐震対策指針と解説」 (日本下水道協会)
- 「下水道施設耐震計算例－処理場・ポンプ場編－」 (日本下水道協会)
- 「コンクリート標準示方書」 (土木学会)
- 「道路橋示方書」 (日本道路協会)
- 「官庁施設の総合耐震診断・改修基準及び同解説」 (建築保全センター)
- 「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説」 (公共建築協会)
- 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・改修設計指針・同解説」 (日本建築防災協会)
- 「建築設備耐震設計・施工指針」 (日本建築センター)
- 「公共建築工事標準仕様書」 (公共建築協会)
- 「公共建築改修工事標準仕様書」 (建築保全センター)
- 「東日本大震災における津波による建築物被害を踏まえた津波避難ビル等の構造上の要件に係る暫定指針 平成23年11月17日国住指第2570号」
- 「津波避難ビル等の構造上の要件の解説」 (国土交通省国土技術政策総合研究所、一般社団法人建築性能基準推進協会)
- 「公共建築工事積算基準」 (建築コスト管理システム研究所)
- 「建築数量積算基準・同解説」 (建築コスト管理システム研究所)
- 「建築工事内訳書標準書式・同解説」 (建築コスト管理システム研究所)

- 「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」（公共建築協会）
- 「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）」（建築保全センター）
- 「公共建築改修工事の積算マニュアル」（建築コスト管理システム研究所）
- 「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」（公共建築協会）
- 「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」（建築保全センター）
- 「公共建築設備数量積算基準・同解説」（建築コスト管理システム研究所）
- 「公共建築工事内訳書標準書式【設備工事編】・同解説」（建築コスト管理システム研究所）

※上記図書については、最新版を用いる

## 提出書類一覧

施設名 : 長井ポンプ場

委託タイトル : 長井ポンプ場耐震診断業務委託

名 称	様 式	部数	備 考
<b>【金文字・黒表紙製本】</b>			
報告書 <sup>※1</sup>	A-4	2	データ提出
構造計算書 <sup>※1</sup>	A-4	2	データ提出
<b>【パイプ式ファイル等】</b>			
図面再生 (配置図、平面図、立面図、断面図)	A-3	1	データ提出 (CADデータ含む)
議事録および諸官庁打合せ記録	A-4	1	※2
照査報告書	A-4	1	※2
現地調査報告書・写真	A-4	1	※2
設計参考資料	A-4	1	※2 特殊工法採用時など、必要に応じて添付
電算処理 入出力データ	A-4	1	別冊
設計参考資料 (使用材料カタログ・見積書等 各項目3社以上)	A-4	1	必要に応じて添付

工事タイトル : 長井ポンプ場 耐津波診断

名 称	様 式	部数	備 考
<b>【金文字・黒表紙製本】</b>			
報告書 (診断結果、補強概要等)	A-4	2	データ提出
<b>【パイプ式ファイル等】</b>			
議事録および諸官庁打合せ記録	A-4	1	※2
照査報告書	A-4	1	※2
現地調査報告書・写真	A-4	1	※2
電算処理 入出力データ	A-4	1	別冊
設計参考資料 (使用材料カタログ・見積書等 各項目3社以上)	A-4	1	必要に応じて添付

※1 報告書・構造計算書については、土木、建築、耐震・耐津波等の区分けをし、分かりやすく整理する。また、内容に関しては、建築等の区分けをし分かり易く整理すること。  
(整理方法等については監督員と事前に協議する)

※2 議事録等は報告書に含んでも良い

## 特記仕様書

件名：長井ポンプ場耐震診断業務委託

委託対象：耐震診断+耐津波診断：長井ポンプ場のポンプ棟+配管用さや管

( 施設詳細は【業務対象施設(別紙-1)】参照 )

面部材におけるせん断力照査について	等価せん断スパンを用いたディープブーム式の適用、弾性域内の部材に対する許容応力度の適用等によりせん断NG部材の解消を考慮すること。
EXP. J部位に関して	土木部の配管用さや管等におけるEXP. Jの部位について照査を行う。必要に応じて可とう継手の検討を行うこと。
コンクリート強度に関して	各施設コア抜きを実施し、コンクリート強度を確認すること。 なお、コア抜きのか所に関しては、監督員と協議して決定すること。
津波高さに関して	神奈川県により平成27年に津波浸水予測の見直しが行われ、本市では平成29年に津波シミュレーションにより、下水道施設の詳細な浸水状況を把握した。計画浸水深については貸与データにより協議の上決定するが以下の計画浸水深を参照すること。 計画津波浸水深：6.7m (ポンプ棟)
参考資料	<ul style="list-style-type: none"><li>・業務対象施設(別紙-1)</li><li>・容量計算書(別紙-2)</li><li>・しゅん工図(別紙-3)</li></ul>

## 業務対象施設

### 1. 業務対象施設 基本事項

- (1) 名称： 長井ポンプ場 (ポンプ棟、配管用さや管)
- (2) 位置： 横須賀市長井1丁目24番10号
- (3) 規模： ポンプ棟  
建築面積：53.13 m<sup>2</sup>  
延べ面積：154.49 m<sup>2</sup>  
階数 地上1階、地下2階、水路階1階  
高さ 地上5.885m  
配管用さや管  
外径：2,350mm  
厚さ：175mm  
内径：2,000mm
- (4) 構造形式： 構造種別 鉄筋コンクリート造  
骨組形式：XY 1階：壁式鉄筋コンクリート造  
その他：耐震壁付きラーメン構造  
基礎形式：直接基礎  
下水道施設構造形分類：IV類
- (5) 建設： 平成9年 しゅん工
- (6) 計画地盤高： TP+2.500m
- (7) 周囲の土地利用： 第2種中高層住居専用地域
- (8) 下水の排除方式： 分流式
- (9) 処理区名称： 西処理区

## 個人情報の取扱いに関する特記事項

(個人情報を取り扱う際の基本的事項)

第1条 受託者(以下「乙」という。)は、個人情報の保護の重要性を認識し、業務に関して個人情報を取り扱うときは、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適正に取り扱わなければならない。

(適正な取得等)

第2条 乙は、この契約による業務を処理するため個人情報を取得するときは、この契約による業務の目的を正確に把握し、当該目的の達成に必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により取得しなければならない。

(適正な管理)

第3条 乙は、個人情報の漏えい、滅失、改ざん、き損及びその他の事故の防止その他の個人情報の安全かつ適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。

2 乙は、個人情報の取扱いに関する責任体制を整備し、管理責任者を定めなければならない。

3 乙は、個人情報の保管に当たっては、この契約による業務により取得した個人情報とそれ以外の個人情報を明確に区分し、管理しなければならない。

4 乙は、委託者(以下「甲」という。)の指示または承諾があるときを除き、個人情報を乙の事業所内から持ち出してはならない。

(管理責任者等の教育及び研修)

第4条 乙は、個人情報の保護及び情報セキュリティに対する意識の向上を図るため、管理責任者及び従事者に対し、個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号。以下「法」という。)第5章(行政機関等の義務等)の内容並びに本特記事項において従事者が遵守すべき事項その他この契約による業務の適切な履行に関し必要な事項について、教育及び研修を実施しなければならない。

(個人情報に関する秘密の保持)

第5条 乙は、個人情報の内容を第三者に漏らしてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

2 乙は、この契約による業務の処理の従事者が個人情報を管理責任者の承諾を得ることなく事務所以外の場所に持ち出し、又は不適切な取扱いにより第三者に漏らすことのないように、必要かつ適切な監督を行わなければならない。

(目的外利用等の禁止)

第6条 乙は、甲の指示又は承諾があるときを除き、この契約による業務の目的以外の目的に個人情報を利用し、又は第三者に提供してはならない。

(複製等の禁止)

第7条 乙は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、業務を実施するために甲から提供された個人情報を複製し、又は複写してはならない。

(資料等の返還、引き渡し若しくは消去)

第8条 乙は、この契約による事務を処理するために甲から貸与され、又は乙が収集し、複製し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等を、この契約が終了し、又は解除された後直ちに甲に返還し、又は引き渡し、若しくは消去しなければならない。ただし、甲が別に指示したときは、当該方法によるものとする。



- 2 乙は、前項の規定により電子記録媒体に記録された個人情報を消去する場合は、当該個人情報が復元できないように確実に消去しなければならない。
- 3 乙は、前項の規定により個人情報を消去した場合は、当該個人情報を消去した旨の報告書を甲に提出しなければならない。

(外部サービスの利用)

第9条 乙は、外部サービス（クラウドサービス、ウェブ会議サービス、ソーシャルネットワークワーキングサービス、ホスティングサービス等をいい、法令により設置されたもの又は行政機関等により設置される公共的な基盤等を除く。以下同じ。）であつて、当該外部サービス提供者が提示する約款等に乙が同意することで利用可能となり、契約等により乙から個別の措置を求めることができないもの（以下「約款等による外部サービス」という。）を利用しようとするときは、あらかじめ次の各号に掲げる事項を記載した書面を甲に提出しなければならない。

- (1) 外部サービスの名称
- (2) 外部サービスの提供者
- (3) 外部サービスを用いて行う業務の内容
- (4) 外部サービスで保管又は取り扱う個人情報
- (5) 外部サービスの利用の期間
- (6) 外部サービスの利用が必要な理由
- (7) 外部サービスにおける安全管理措置の内容

- 2 乙は、当該約款等による外部サービスの利用に関し、甲から指示のある場合、甲の指示に従い、必要かつ適切な措置を講じなければならない。

(再委託の禁止等)

第10条 乙は、個人情報の処理を自ら行うものとし、第三者にその処理を委託（以下「再委託」という。）してはならない。ただし、書面により甲の承諾を得た場合は、この限りでない。

- 2 乙は、個人情報の処理を再委託する場合及び再委託の内容を変更する場合は、あらかじめ次の各号に掲げる事項を記載した書面を甲に提出し、前項ただし書きの承諾を得なければならない。

- (1) 再委託の相手方
- (2) 再委託を行う業務の内容
- (3) 再委託で取り扱う個人情報
- (4) 再委託の期間
- (5) 再委託が必要な理由
- (6) 再委託の相手方における責任体制及び管理責任者
- (7) その他甲が必要と認める事項

- 3 乙は、前項の規定により個人情報を取り扱う事務を再委託の相手方（以下「再受託者」という。）に取り扱わせる場合には、乙と再受託者との契約内容に関わらず、再受託者の当該事務に関する行為について責任を負うものとする。

- 4 乙は、再委託契約において、再受託者に対する監督及び個人情報の安全管理の方法について具体的に指示しなければならない。

- 5 乙は、この契約による業務を再委託した場合は、その履行を監督するとともに、甲の

求めに応じて、再受託者の状況等を報告しなければならない。

6 乙は、再委託契約を行う場合には、この契約により第1条から前条までに規定する個人情報の取扱いに関する義務を再受託者にも遵守させなければならない。

(個人情報の取扱状況の報告等)

第11条 甲は、個人情報を保護するために必要な限度において、乙(再受託者を含む。)に対し、個人情報を取り扱う事務について管理状況の報告若しくは資料の提出を求め、又は乙(再受託者を含む。)の事務所に立ち入ることができる。

2 乙(再受託者を含む。)は、甲から個人情報の取扱いに関して改善を指示されたときは、その指示に従わなければならない。

(事故発生時等における報告)

第12条 乙(再受託者を含む。)は、個人情報の漏えい、滅失、き損及び改ざん等の事故(以下「漏えい事故」という。)が生じ、又は生ずるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従わなければならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

2 乙(再受託者を含む。)は、漏えい事故が生じた場合、当該事故の被害を最小限にするため、甲と協力して必要な措置を講じ、かつ、甲の指示に従わなければならない。

(契約の解除)

第13条 甲は、乙(再受託者を含む。)が本特記事項に定める事項に違反した場合若しくは義務を怠った場合には、この契約による業務の全部又は一部を解除することができるものとする。

(損害賠償)

第14条 乙(再受託者を含む。)は、本特記事項に定める義務に違反し、又は怠ったことにより甲が損害を被った場合には、甲の求めに応じてその損害を賠償しなければならない。

(補則)

第15条 乙は、この契約における個人情報の取扱いについて疑義が生じたときは、甲と協議し、その指示に従わなければならない。

## 積算諸条件調書に係る追加事項

### 1 市独自単価及び積算における補足資料について

本設計積算書内（市独自単価一覧表）に記載の資材単価のうち単価金額が記載されていない資材単価は、「ホームページ（工事積算情報）」の「市独自単価 刊行物等掲載単価 コード一覧表」を参照してください。又当該頁に併せて積算における補足資料も掲載しています。

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/5510/koujitousekisann.html>

### 2 単価表コードについて

本設計積算書内の単価表コードは、神奈川県土木工事標準積算基準書の施工単価入力基準表のコードに適用しています。

なお、下水道用設計標準歩掛表を適用する場合の単価表コードは（DKG……、DKK……）となります。

### ~~3 市場単価及び標準単価の端数処理について~~

~~市場単価及び標準単価方式による単価表の加算・補正後の金額は円止めとする。~~

~~なお、単価補正が行われた場合の単価は、小数点以下第2位（小数点以下第3位四捨五入）まで計算し、数量×単価＝金額を算出している。~~

### ~~4 土砂検定費等について~~

~~土砂検定費（1～28項目）括実施）、土砂検定費（ヒ素＋銅）及び六価クロムの単価には、諸経費、技術料及び報告書作成の一切の費用を含むため、その他の間接費の対象とならない。~~

### ~~5 共通仮設費の対象外となる桁等購入費について~~

~~桁等購入費 あり なし~~

### ~~6 共通仮設費（積上分）の借地料は、発生主及び改良主の仮置きを行うことを想定して計上している。~~

### ~~7 施工パッケージ型積算のタイヤ損耗費及び補修費への対応について~~

~~ダンプトラックの東京単価は、タイヤ損耗費及び補修費を含んだ金額が設定されているため、積算単価も建設機械等損料表の損料金額にタイヤ損耗費及び補修費を加算した金額を計上している。~~

### ~~8 【改築】 取付管布設および支管取付工については、補正值のほか割増率も乗じて計上している。~~

### 9 基準書等の適用について

本工事は以下の基準書等を使用し、積算している。

1) 土木工事標準積算基準書（土木工事編） 令和4年7月1日版

- |                          |                  |
|--------------------------|------------------|
| 2) 積算参考資料 (土木工事編)        | 令和4年7月1日版        |
| 3) 設計業務等標準積算基準書          | 令和4年7月1日版        |
| 4) 積算参考資料 (計画・調査編)       | 令和4年7月1日版        |
| 5) 下水道用設計標準歩掛表           |                  |
| <del>第1巻 管路</del>        | <del>令和4年度</del> |
| <del>第2巻 ポンプ場・処理場</del>  | <del>令和4年度</del> |
| 第3巻 設計委託                 | 令和4年度            |
| 6) 建設機械等損料表              | 令和4年度版           |
| 7) 下水道施設維持管理積算要領 (管路施設編) | 2020年度版          |
| 8) 下水道管路管理積算資料 -2019-    |                  |

~~10 その他~~

~~本工事は、「土木工事標準積算基準書 (土木工事編) 第11章 施工箇所が点在する工事」にて積算している。~~

~~●●町 ..... 親設計書 (工事1)~~

~~●●町 ..... 子設計書 (工事2)~~

~~11 補正率について~~

~~本設計積算書において補正率は、小数第3位 (小数第4位四捨五入) まで算出しています。~~


令和 05 年度 設 計 積 算 書 表 紙 ( 当 初 )

設 計 書 番 号	年度 05	
事 業 所 名	横須賀市上下水道局	
( 工 事 ・ 業 務 ) 名	長井ポンプ場耐震診断業務委託	
( 工 事 ・ 業 務 ) 箇 所	横須賀市長井1丁目24番10号	
( 河 川 ・ 路 線 ・ 区 域 ) 名		
単 価 採 用 地 区 名	横須賀	
事 業 区 分	補単合併	
工 期	180 日間	
設 計 金 額	( 円 )	
	円	
設 計 概 要	(補助) ポンプ場耐震診断 (土木) 1式 ポンプ場耐津波診断 (土木) 1式 (単独) ポンプ場耐震診断 (建築) 1式 ポンプ場耐津波診断 (建築) 1式	
( 起 工 ・ 変 更 ) 理 由	令和5年度下水道事業に基づくものである。	

横須賀市

令和 05 年度 設 計 積 算 書 表 紙 ( 当 初 )

<支出科目>

款	04 資本的支出
項	01 建設改良費
目	30 ポンプ場建設事業費
節	02 ポンプ場建設費
細節	16 委託料

<合併区分情報>

合併処理設定	する
	区 分 1 補助
	区 分 2 単独
	区 分 3
	区 分 4
	区 分 5
	区 分 6
	区 分 7
	区 分 8
	区 分 9

<全体金額情報>

	当初官積算額 (a)	当初請負額(b1) 前回変更請負額(b2)	今回変更官積算額 (c)	今回変更請負額 (d)=(b1)/(a)×(c)	増減 (d)-(b1) or (b2)	備 考
業務費						
業務価格						
消費税等相当額						

令和 05 年度 設計積算書表紙 ( 当初 )

<合併金額情報>

補助

	当初官積算額	当初請負額または 前回変更請負額(a)	今回変更請負額 (b)	増減 (b)-(a)	備考
業務費					
業務価格					
消費税等相当額					

単独

	当初官積算額	当初請負額または 前回変更請負額(a)	今回変更請負額 (b)	増減 (b)-(a)	備考
業務費					
業務価格					
消費税等相当額					

令和 05 年度 積算諸条件調書( 当初 )

経費等情報	設計業務	委託先/α、β	建設コンサルタント/α=35%、β=35%	
		電子成果品作成費	計上する(詳細設計)	
		旅費交通費	計上する(設計)	
		安全費率	0.0%	
	測量業務	安全費率		
		電子成果品作成費		
		旅費交通費		
	地質・土質調査業務	電子成果品作成費		
		施工管理費		
		旅費交通費		
安全費率				
地質・土質調査業務(解析)	委託先/α、β			
業務委託	諸経费率			
	技術経费率			
	設計業務等標準積算基準書 適用年版	令和04年7月1日適用		
	資材等単価表 適用年版	令和5年6月1日基準		
積算数量等情報	名称	採用数量	単位	備考
(その他情報欄)				



# 本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前回 下段：今回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
設計業務							
下水道業務費（補助）			1	式			
下水道施設設計業務（土木）			1	式			
ポンプ場耐震診断（土木）			1	式			第 1001 号 内訳書
ポンプ場耐津波診断（土木）			1	式			第 1002 号 内訳書
直接経費（土木）			1	式			
ポンプ場試験費（土木）			1	式			第 1003 号 内訳書
下水道業務費（単独）			1	式			
下水道施設設計業務（建築）			1	式			
ポンプ場耐震診断（建築）			1	式			第 1004 号 内訳書
ポンプ場耐津波診断（建築）			1	式			第 1005 号 内訳書
直接経費（建築）			1	式			
ポンプ場試験費（建築）			1	式			第 1006 号 内訳書

# 本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前回 下段：今回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
旅費交通費(率計上分)			1	式			
電子成果品作成費(率計上分)			1	式			
直接原価計			1	式			
その他原価			1	式			
一般管理費等			1	式			
設計業務費計			1	式			
設計業務価格			1	式			
消費税及び地方消費税相当額			1	式			
業務委託料			1	式			

第1001号 内訳書  
ポンプ場耐震診断（土木）

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要	
(AMA0010) ポンプ棟（土木）	1	式			第1001号下内	合1
(AMA0030) 配管用さや管（土木）	1	式			第1002号下内	合1
合 計						

第1002号 内訳書  
ポンプ場耐津波診断（土木）

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要	
(AMA0040) ポンプ棟（土木）	1	式			第1003号下内	合1
(AMA0050) 配管用さや管（土木）	1	式			第1004号下内	合1
合 計						

第1003号 内訳書  
ポンプ場試験費（土木）

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要	
(AMA0070) ポンプ棟（土木）	1	式			第1005号下内	合1
合 計						

第1004号 内訳書  
ポンプ場耐震診断（建築）

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要	
(AMA0020) ポンプ棟（建築）	1	式			第1006号下内	合2
合 計						

第1005号 内訳書

1 式

ポンプ場耐津波診断 (建築)

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0060) ポンプ棟 (建築)	1	式			第1007号下内
合 計					

合2

第1006号 内訳書

1 式

ポンプ場試験費 (建築)

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0080) ポンプ棟 (建築)	1	式			第1008号下内
合 計					

合2

第1001号 下位内訳書  
 AMA0010 ポンプ棟(土木)

1 式 当り  
 適用年版 T0506

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0010) 診断計画	1	式			第1001号単価表
(SJ0020) 資料収集・整理	1	式			第1002号単価表
(SJ0030) 原設計条件の整理	1	式			第1003号単価表
(SJ0040) 現地調査	1	式			第1004号単価表
(SJ0050) 耐震計算入力条件の整理及び診断	1	式			第1005号単価表
(SJ0060) 現地確認	1	式			第1006号単価表
(SJ0070) 耐震対策の検討	1	式			第1007号単価表
(SJ0080) 報告書作成	1	式			第1008号単価表
(SJ0090) 照査	1	式			第1009号単価表
(SJ0100) 設計協議	1	式			第1010号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1002号 下位内訳書  
 AMA0030 配管用さや管 (土木)

1 式 当り  
 適用年版 T0506  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0130) 診断計画	1	式			第1011号単価表
(SJ0020) 資料収集・整理	1	式			第1002号単価表
(SJ0140) 原設計条件の整理	1	式			第1012号単価表
(SJ0040) 現地調査	1	式			第1004号単価表
(SJ0150) 耐震計算入力条件の整理及び診断	1	式			第1013号単価表
(SJ0160) 現地確認	1	式			第1014号単価表
(SJ0170) 耐震対策の検討	1	式			第1015号単価表
(SJ0080) 報告書作成	1	式			第1008号単価表
(SJ0180) 照査	1	式			第1016号単価表
(SJ0100) 設計協議	1	式			第1010号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1003号 下位内訳書  
 AMA0040 ポンプ棟 (土木)

1 式 当り  
 適用年版 T0506  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0010) 診断計画	1	式			第1001号単価表
(SJ0020) 資料収集・整理	1	式			第1002号単価表
(SJ0030) 原設計条件の整理	1	式			第1003号単価表
(SJ0040) 現地調査	1	式			第1004号単価表
(SJ0110) 耐津波計算入力条件の整理及び診断	1	式			第1017号単価表
(SJ0060) 現地確認	1	式			第1006号単価表
(SJ0120) 耐津波対策の検討	1	式			第1018号単価表
(SJ0080) 報告書作成	1	式			第1008号単価表
(SJ0090) 照査	1	式			第1009号単価表
(SJ0100) 設計協議	1	式			第1010号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1004号 下位内訳書  
 AMA0050 配管用さや管 (土木)

1 式 当り  
 適用年版 T0506  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0190) 診断計画	1	式			第1019号単価表
(SJ0020) 資料収集・整理	1	式			第1002号単価表
(SJ0200) 原設計条件の整理	1	式			第1020号単価表
(SJ0040) 現地調査	1	式			第1004号単価表
(SJ0210) 耐津波計算入力条件の整理及び診断	1	式			第1021号単価表
(SJ0220) 現地確認	1	式			第1022号単価表
(SJ0230) 耐津波対策の検討	1	式			第1023号単価表
(SJ0080) 報告書作成	1	式			第1008号単価表
(SJ0240) 照査	1	式			第1024号単価表
(SJ0100) 設計協議	1	式			第1010号単価表
合 計					
	1	式			円/式



第1005号 下位内訳書  
 AMA0070 ポンプ棟 (土木)

1 式 当り  
 適用年版 T0506

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0330) 試験費	1	式			第1025号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1006号 下位内訳書  
AMA0020 ポンプ棟 (建築)

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0250) 診断計画	1	式			第1026号単価表
(SJ0020) 資料収集・整理	1	式			第1002号単価表
(SJ0260) 原設計条件の整理	1	式			第1027号単価表
(SJ0040) 現地調査	1	式			第1004号単価表
(SJ0270) 耐震計算入力条件の整理及び診断	1	式			第1028号単価表
(SJ0280) 現地確認	1	式			第1029号単価表
(SJ0290) 耐震対策の検討	1	式			第1030号単価表
(SJ0080) 報告書作成	1	式			第1008号単価表
(SJ0300) 照査	1	式			第1031号単価表
(SJ0100) 設計協議	1	式			第1010号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1007号 下位内訳書  
AMA0060 ポンプ棟 (建築)

1 式 当り  
適用年版 T0506

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0250) 診断計画	1	式			第1026号単価表
(SJ0020) 資料収集・整理	1	式			第1002号単価表
(SJ0260) 原設計条件の整理	1	式			第1027号単価表
(SJ0040) 現地調査	1	式			第1004号単価表
(SJ0320) 耐津波計算入力条件の整理及び診断	1	式			第1032号単価表
(SJ0280) 現地確認	1	式			第1029号単価表
(SJ0310) 耐津波対策の検討	1	式			第1033号単価表
(SJ0080) 報告書作成	1	式			第1008号単価表
(SJ0300) 照査	1	式			第1031号単価表
(SJ0100) 設計協議	1	式			第1010号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1008号 下位内訳書  
 AMA0080 ポンプ棟 (建築)

1 式 当り  
 適用年版 T0506  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0340) 試験費	1	式			第1034号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1001号 単価表  
SJ0010 診断計画

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0401) 理事・技師長	0.685	人			
(R0402) 主任技師	0.685	人			
(R0403) 技師 (A)	0.685	人			
(R0404) 技師 (B)	0.343	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1002号 単価表  
SJ0020 資料収集・整理

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	0.083	人			
(R0403) 技師 (A)	0.25	人			
(R0404) 技師 (B)	0.333	人			
(R0405) 技師 (C)	0.5	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1003号 単価表  
 SJ0030 原設計条件の整理

1 式 当り  
 適用年版 T0506  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	0.343	人			
(R0403) 技師 (A)	0.343	人			
(R0404) 技師 (B)	0.685	人			
(R0405) 技師 (C)	0.343	人			
(R0406) 技術員	0.343	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1004号 単価表  
 SJ0040 現地調査

1 式 当り  
 適用年版 T0506  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	0.167	人			
(R0403) 技師 (A)	0.334	人			
(R0404) 技師 (B)	0.334	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1005号 単価表  
SJ0050 耐震計算入力条件の整理及び診断

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師					
	1.028	人			
(R0403) 技師 (A)					
	2.398	人			
(R0404) 技師 (B)					
	2.74	人			
(R0405) 技師 (C)					
	2.398	人			
(R0406) 技術員					
	1.713	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1006号 単価表  
SJ0060 現地確認

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師					
	0.343	人			
(R0403) 技師 (A)					
	0.343	人			
(R0404) 技師 (B)					
	1.028	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1007号 単価表  
SJ0070 耐震対策の検討

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	0.343	人			
(R0403) 技師 (A)	1.028	人			
(R0404) 技師 (B)	2.398	人			
(R0405) 技師 (C)	1.713	人			
(R0406) 技術員	1.028	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式



第1008号 単価表  
SJ0080 報告書作成

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	0.25	人			
(R0403) 技師 (A)	0.75	人			
(R0404) 技師 (B)	0.917	人			
(R0405) 技師 (C)	0.667	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1009号 単価表  
SJ0090 照査

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0401) 理事・技師長	0.343	人			
(R0402) 主任技師	0.685	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1010号 単価表  
SJ0100 設計協議

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	0.834	人			
(R0403) 技師 (A)	1.667	人			
(R0404) 技師 (B)	1	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1011号 単価表  
SJ0130 診断計画

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0401) 理事・技師長	0.343	人			
(R0402) 主任技師	0.685	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1012号 単価表  
SJ0140 原設計条件の整理

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0403) 技師 (A)	0.343	人			
(R0404) 技師 (B)	0.343	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1013号 単価表  
SJ0150 耐震計算入力条件の整理及び診断

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	0.343	人			
(R0403) 技師 (A)	0.685	人			
(R0404) 技師 (B)	1.713	人			
(R0405) 技師 (C)	0.343	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1014号 単価表  
SJ0160 現地確認

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師					
	0.343	人			
(R0403) 技師 (A)					
	0.343	人			
(R0404) 技師 (B)					
	0.343	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1015号 単価表  
SJ0170 耐震対策の検討

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師					
	0.343	人			
(R0403) 技師 (A)					
	0.343	人			
(R0404) 技師 (B)					
	0.343	人			
(R0405) 技師 (C)					
	0.343	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1016号 単価表  
SJ0180 照査

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段: 前回 下段: 今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0401) 理事・技師長	0.343	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1017号 単価表  
SJ0110 耐津波計算入力条件の整理及び診断

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段: 前回 下段: 今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	1.028	人			
(R0403) 技師 (A)	2.398	人			
(R0404) 技師 (B)	2.74	人			
(R0405) 技師 (C)	2.398	人			
(R0406) 技術員	1.713	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1018号 単価表  
SJ0120 耐津波対策の検討

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	0.343	人			
(R0403) 技師 (A)	1.028	人			
(R0404) 技師 (B)	2.398	人			
(R0405) 技師 (C)	1.713	人			
(R0406) 技術員	1.028	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1019号 単価表  
SJ0190 診断計画

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0401) 理事・技師長	0.206	人			
(R0402) 主任技師	0.411	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1020号 単価表  
 SJ0200 原設計条件の整理

1 式 当り  
 適用年版 T0506  
 (上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0403) 技師 (A)	0.206	人			
(R0404) 技師 (B)	0.206	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1021号 単価表  
 SJ0210 耐津波計算入力条件の整理及び診断

1 式 当り  
 適用年版 T0506  
 (上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	0.206	人			
(R0403) 技師 (A)	0.411	人			
(R0404) 技師 (B)	1.028	人			
(R0405) 技師 (C)	0.206	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1022号 単価表  
SJ0220 現地確認

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	0.206	人			
(R0403) 技師 (A)	0.206	人			
(R0404) 技師 (B)	0.206	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1023号 単価表  
SJ0230 耐津波対策の検討

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	0.206	人			
(R0403) 技師 (A)	0.206	人			
(R0404) 技師 (B)	0.206	人			
(R0405) 技師 (C)	0.206	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式



第1024号 単価表  
SJ0240 照査

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0401) 理事・技師長	0.206	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1025号 単価表  
SJ0330 試験費

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0010) Φ100コア採取6か所 ポンプ棟(土木)(中性化試験、圧縮強度試験)	1	式			
(TJ0030) 変状調査、配筋探査 ポンプ棟(土木)	1	式			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1026号 単価表  
 SJ0250 診断計画

1 式 当り  
 適用年版 T0506  
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0401) 理事・技師長	0.343	人			
(R0402) 主任技師	0.685	人			
(R0403) 技師 (A)	0.685	人			
(R0404) 技師 (B)	0.685	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1027号 単価表  
 SJ0260 原設計条件の整理

1 式 当り  
 適用年版 T0506  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	0.343	人			
(R0403) 技師 (A)	0.343	人			
(R0404) 技師 (B)	0.685	人			
(R0405) 技師 (C)	0.685	人			
(R0406) 技術員	0.685	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1028号 単価表  
耐震計算入力条件の整理及び診断

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	1.028	人			
(R0403) 技師 (A)	2.398	人			
(R0404) 技師 (B)	3.425	人			
(R0405) 技師 (C)	3.768	人			
(R0406) 技術員	2.74	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1029号 単価表  
現地確認

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	0.343	人			
(R0403) 技師 (A)	0.685	人			
(R0404) 技師 (B)	1.37	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1030号 単価表  
SJ0290 耐震対策の検討

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	0.343	人			
(R0403) 技師 (A)	1.028	人			
(R0404) 技師 (B)	2.398	人			
(R0405) 技師 (C)	2.398	人			
(R0406) 技術員	1.028	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1031号 単価表  
SJ0300 照査

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0401) 理事・技師長	0.685	人			
(R0402) 主任技師	0.685	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1032号 単価表  
 SJ0320 耐津波計算入力条件の整理及び診断

1 式 当り  
 適用年版 T0506  
 (上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	1.028	人			
(R0403) 技師 (A)	2.398	人			
(R0404) 技師 (B)	3.425	人			
(R0405) 技師 (C)	3.768	人			
(R0406) 技術員	2.74	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1033号 単価表  
SJ0310 耐津波対策の検討

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段: 前回 下段: 今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	0.343	人			
(R0403) 技師 (A)	1.028	人			
(R0404) 技師 (B)	2.398	人			
(R0405) 技師 (C)	2.398	人			
(R0406) 技術員	1.028	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1034号 単価表  
SJ0340 試験費

1 式 当り  
適用年版 T0506  
(上段: 前回 下段: 今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0020) Φ75コア採取4か所 ポンプ棟(建築)(中性化試験、圧縮強度試験)	1	式			
(TJ0040) 変状調査、配筋探査 ポンプ棟(建築)	1	式			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式





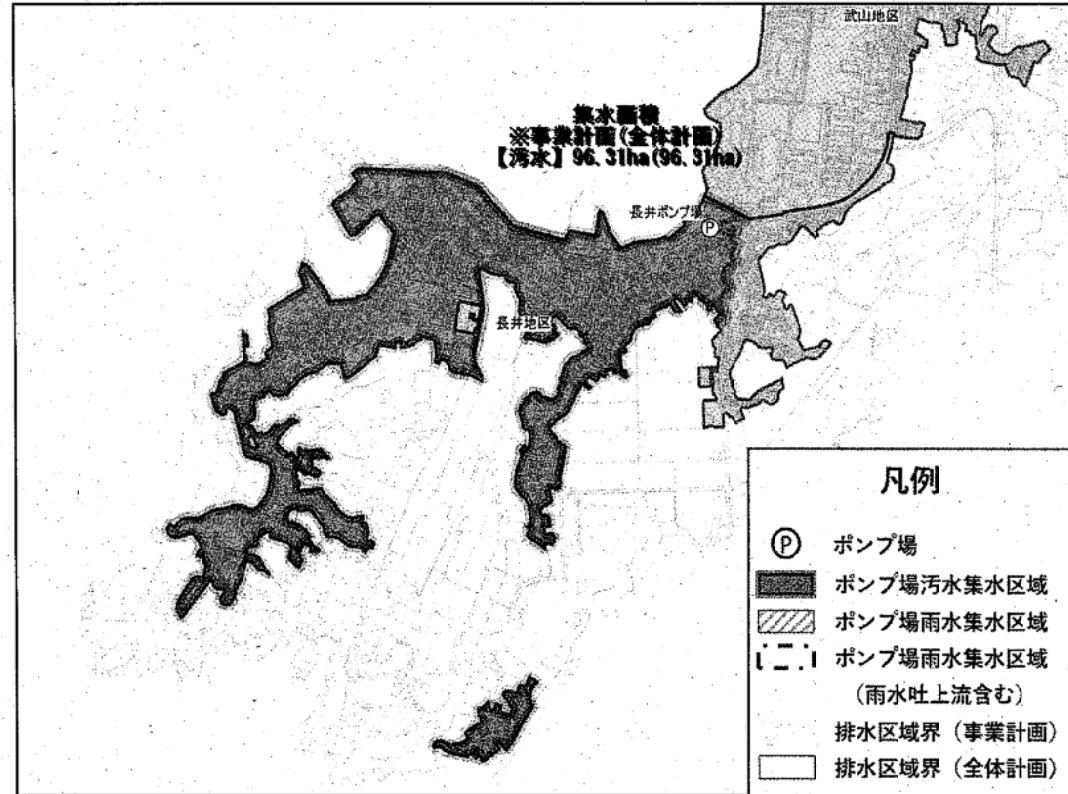
## 〔長井ポンプ場〕

### 1. 計画概要

#### 1-1 基本事項

名称	長井ポンプ場
位置	横須賀市長井1丁目
敷地面積	620 m <sup>2</sup>
計画地盤高	TP+2.500 m
周囲の土地利用	第二種中高層住居専用地域
下水の排除方式	分流式
処理区名称	西処理区
汚水流出管	φ 1,350 mm L=100m (汚水圧送管は無し、揚水機能のみ)
汚水送水先	長井汚水第1幹線

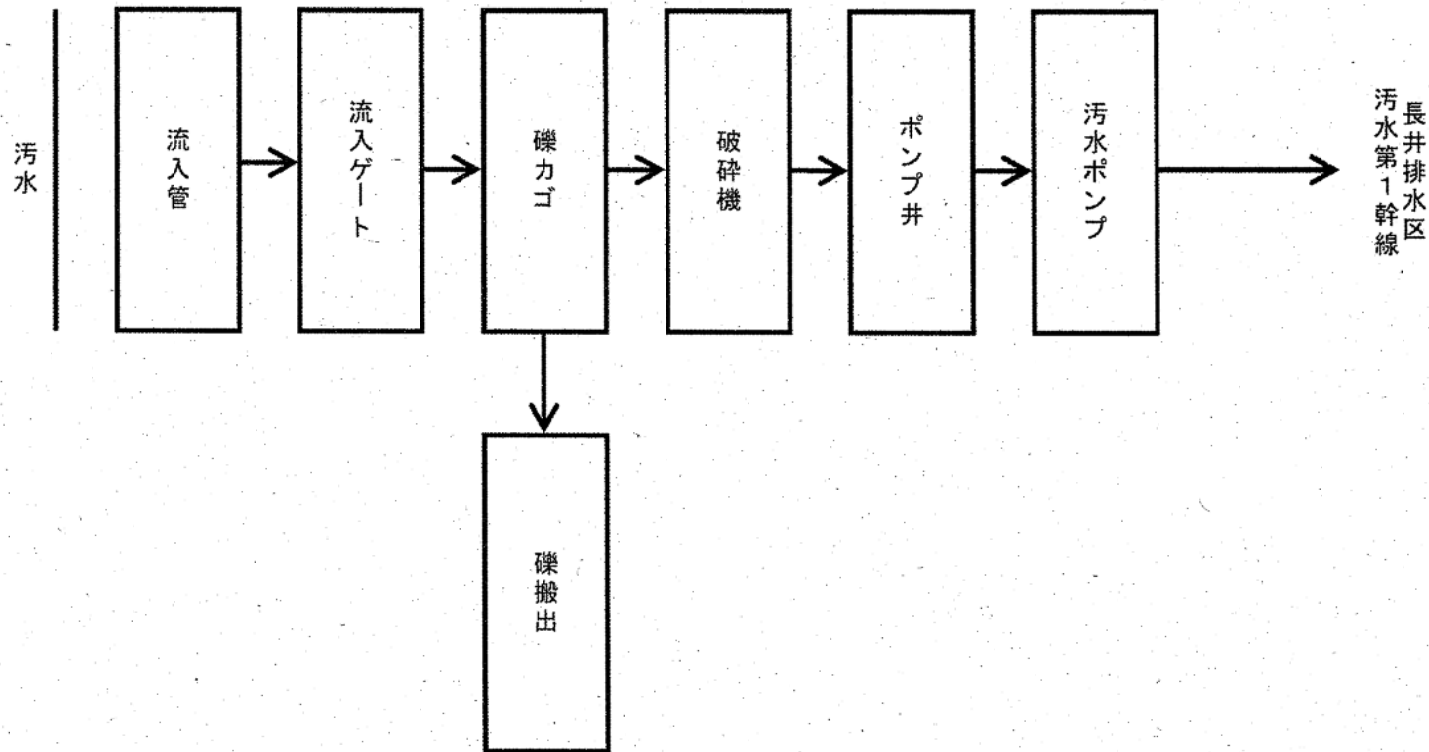
#### 1-1-2 集水区域



#### 1-2 計画処理面積、計画下水量

地区名	全体計画(R31)				事業計画(R6)				既存設備(R3)	
	処理面積 (ha)	計画汚水量 (m <sup>3</sup> /秒)			処理面積 (ha)	計画汚水量 (m <sup>3</sup> /秒)			処理面積 (ha)	R3実流入水量 (m <sup>3</sup> /秒))
		日平均	日最大	時間最大		日平均	日最大	時間最大		晴天時時間最大
長井	96.31	0.0172	0.0189	0.0275	96.31	0.0251	0.0276	0.0402	96.31	0.0500
計	96.31	0.0172	0.0189	0.0275	96.31	0.0251	0.0276	0.0402	96.31	0.0500

## 1-3 フローシート



## 1-4 主要ポンプ施設の概要

施設名称	全体計画(R31)	事業計画(R6)	既存設備(R3)
流入管	$\phi$ 1,350 mm $i = 2.2 \%$ $Q_a = 3.2693$ m <sup>3</sup> /秒	同左	同左
汚水ポンプ	水中汚水ポンプ $\phi$ 150 mm $\times$ 1.7 m <sup>3</sup> /分 $\times$ 14.00 m $\times$ 11.0 kW $\times$ 2 台 (内 1 台予備)	水中汚水ポンプ $\phi$ 150 mm $\times$ 2.5 m <sup>3</sup> /分 $\times$ 14.00 m $\times$ 11.0 kW $\times$ 2 台 (内 1 台予備)	水中汚水ポンプ $\phi$ 150 mm $\times$ 3.2 m <sup>3</sup> /分 $\times$ 18.00 m $\times$ 18.5 kW $\times$ 3 台 (内 1 台予備)

## 2. ポンプ場施設計画

### 2-1 計画汚水量

項目	全体計画(R31)				事業計画(R6)				既存設備(R3)			
	(m <sup>3</sup> /日)	(m <sup>3</sup> /時)	(m <sup>3</sup> /分)	(m <sup>3</sup> /秒)	(m <sup>3</sup> /日)	(m <sup>3</sup> /時)	(m <sup>3</sup> /分)	(m <sup>3</sup> /秒)	(m <sup>3</sup> /日)	(m <sup>3</sup> /時)	(m <sup>3</sup> /分)	(m <sup>3</sup> /秒)
Q <sub>1</sub> 計画1日平均汚水量	1,486	61.9	1.03	0.017	2,169	90.4	1.51	0.025	-	-	-	-
Q <sub>2</sub> 計画1日最大汚水量	1,633	68.0	1.13	0.019	2,385	99.4	1.66	0.028	-	-	-	-
Q <sub>3</sub> 計画時間最大汚水量	2,376	99.0	1.65	0.0275	3,473	144.7	2.41	0.0402	4,320	180.0	3.00	0.0500

### 2-2 流入管

項目	全体計画(R31)	事業計画(R6)	既存設備(R3)
計画地盤高	TP + 2,500 m	同左	同左
断面勾配	φ 1,350 mm i = 2.2 ‰	同左	同左
管底高	TP -13,284 m	同左	同左
満管流量	3,269 m <sup>3</sup> /秒	同左	同左
満管流速	2.284 m/秒 (FRP管 粗度係数0.010)	同左	同左

### 2-3 汚水ポンプ設備

#### 2-3-1 流入管の水深及び水位

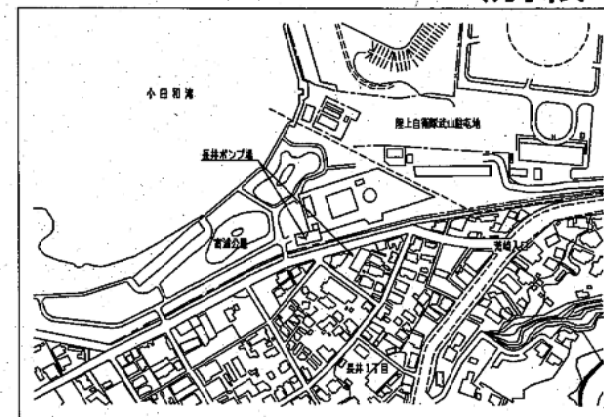
項目	全体計画(R31)			事業計画(R6)			既存設備(R3)		
	日平均	日最大	時間最大	日平均	日最大	時間最大	日平均	日最大	時間最大
流入量 (m <sup>3</sup> /秒)	0.017	0.019	0.028	0.025	0.028	0.040	-	-	0.050
流量比	0.005	0.006	0.008	0.008	0.008	0.012	-	-	0.015
水深比	0.059	0.062	0.075	0.062	0.065	0.077	-	-	0.104
水深 (m)	0.080	0.084	0.101	0.084	0.088	0.104	-	-	0.140
水位 (m)	-13.204	-13.200	-13.183	-13.200	-13.196	-13.180	-	-	-13.144

# 容量計算書(別紙-2) 4/4

## 2-3-2 主ポンプ設備(汚水ポンプ)

項目	全体計画(R31)	事業計画(R6)	既存設備(R3)
計画汚水量	$Q_3$ 0.0275 m <sup>3</sup> /秒 = 1.65 m <sup>3</sup> /分 (流量計算による)	0.0402 m <sup>3</sup> /秒 = 2.41 m <sup>3</sup> /分 (流量計算による)	0.0500 m <sup>3</sup> /秒 = 3.00 m <sup>3</sup> /分 (流入実績)
ポンプ型式	水中汚水ポンプ	水中汚水ポンプ	水中汚水ポンプ
ポンプ台数	2 台 (内 1 台予備)	2 台 (内 1 台予備)	3 台 (内 1 台予備)
揚水量	1.7 m <sup>3</sup> /分/台 × 1 台 = 1.7 m <sup>3</sup> /分 1.7 m <sup>3</sup> /分/台 × 1 台 = 1.7 m <sup>3</sup> /分 (予備)	2.5 m <sup>3</sup> /分/台 × 1 台 = 2.5 m <sup>3</sup> /分 2.5 m <sup>3</sup> /分/台 × 1 台 = 2.5 m <sup>3</sup> /分 (予備)	3.2 m <sup>3</sup> /分/台 × 2 台 = 6.4 m <sup>3</sup> /分 3.2 m <sup>3</sup> /分/台 × 1 台 = 3.2 m <sup>3</sup> /分 (予備)
ポンプ口径	D 146 × √( 1.7 m <sup>3</sup> /分 ÷ 1.5 ) = 155 mm 146 × √( 1.7 m <sup>3</sup> /分 ÷ 3.0 ) = 110 mm 110 ~ 155 ⇒ 150 mm	146 × √( 2.5 m <sup>3</sup> /分 ÷ 1.5 ) = 188 mm 146 × √( 2.5 m <sup>3</sup> /分 ÷ 3.0 ) = 133 mm 133 ~ 188 ⇒ 150 mm	150 mm
実揚程図 (参考)	<p>計画吐出水位=-1.557 ▽ 実揚程=11.847m ▽ 流入管水位=-13.183 ▽ 計画吸込水位=-13.404</p>	<p>計画吐出水位=-1.557 ▽ 実揚程=11.843m ▽ 流入管水位=-13.180 ▽ 計画吸込水位=-13.400</p>	
全揚程 (参考)	H ポンプ廻り管・弁損失 1.5 m 実揚程 11.9 m 余裕 0.6 m 計 14.0 m	H ポンプ廻り管・弁損失 1.5 m 実揚程 11.9 m 余裕 0.6 m 計 14.0 m	H ポンプ廻り管・弁損失 - m 実揚程 - m 余裕 - m 計 18.0 m
軸動力 (参考)	$P_s$ $1 / ( 60 \times 10^3 \times 0.60 ) \times 1,000 \text{ kg/m}^3$ $\times 9.8 \text{ m/s}^2 \times 1.7 \text{ m}^3/\text{分} \times 14.0 \text{ m} = 6.5 \text{ kW}$	$1 / ( 60 \times 10^3 \times 0.60 ) \times 1,000 \text{ kg/m}^3$ $\times 9.8 \text{ m/s}^2 \times 2.5 \text{ m}^3/\text{分} \times 14.0 \text{ m} = 9.5 \text{ kW}$	
電動機出力 (参考)	6.5 kW × ( 1 + 0.15 ) ÷ 1 = 7.5 kW ⇒ 11 kW	9.5 kW × ( 1 + 0.15 ) ÷ 1 = 10.9 kW ⇒ 11 kW	18.5 kW
ポンプ仕様 (参考)	φ 150 mm × 1.7 m <sup>3</sup> /分 × 14.0 m × 11 kW × 2 台 (内 1 台予備)	φ 150 mm × 2.5 m <sup>3</sup> /分 × 14.0 m × 11 kW × 2 台 (内 1 台予備)	φ 150 mm × 3.20 m <sup>3</sup> /分 × 18.0 m × 18.5 kW × 3 台 (内 1 台予備)
検討	揚水能力 1.7 m <sup>3</sup> /分/台 × 1 台 = 1.7 m <sup>3</sup> /分 (予備無)	揚水能力 2.5 m <sup>3</sup> /分/台 × 1 台 = 2.5 m <sup>3</sup> /分 (予備無)	揚水能力 3.2 m <sup>3</sup> /分/台 × 2 台 = 6.4 m <sup>3</sup> /分 (予備無)

長井ポンプ場 一般平面図



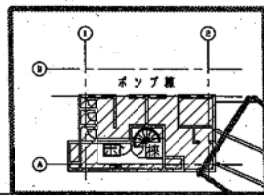
案内図

プール管理棟

市営富洲公園プール

富洲公園

①ポンプ棟



②配管用さや管

③電気棟

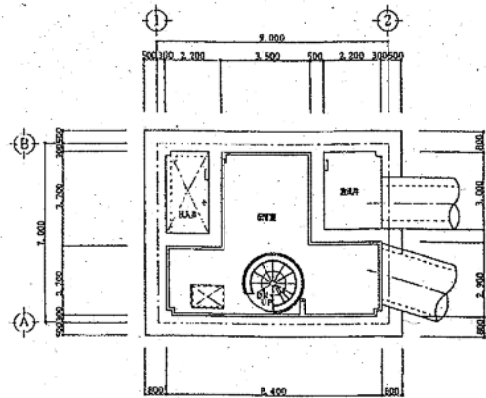
電気棟

電気室

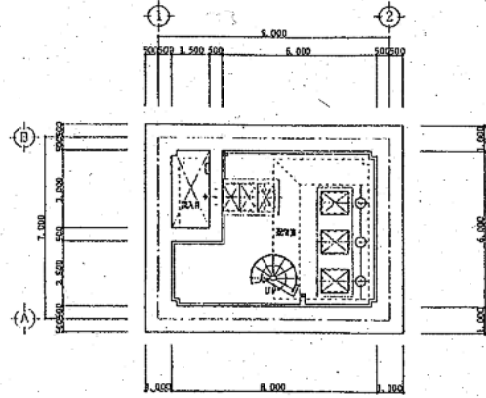


委託対象箇所

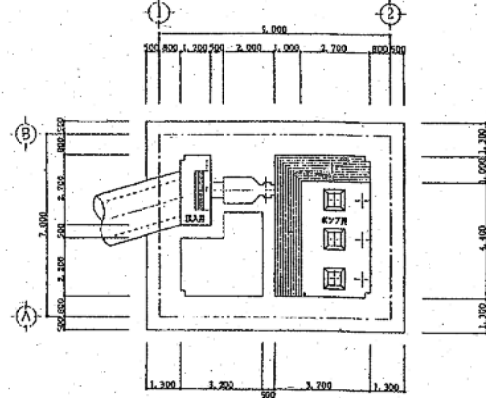
# (別紙-3) ①ポンプ棟1/3



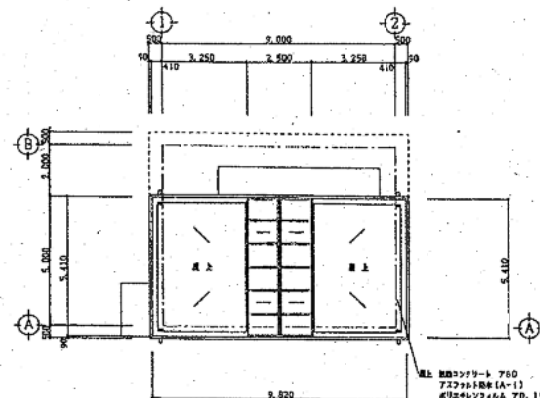
B1階平面図 1/100



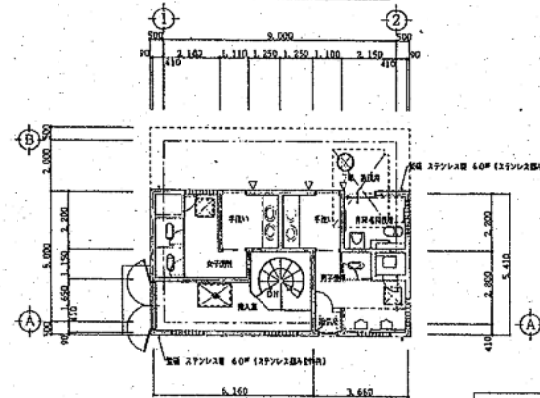
B2階平面図 1/100



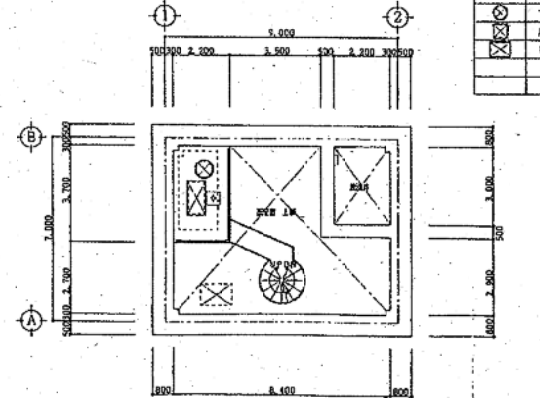
水路階平面図 1/100



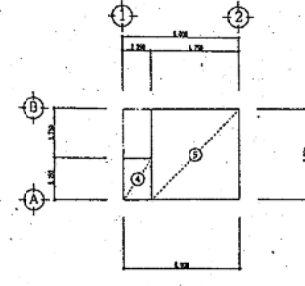
屋根伏図 1/100



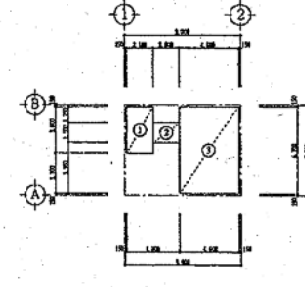
1階平面図 1/100



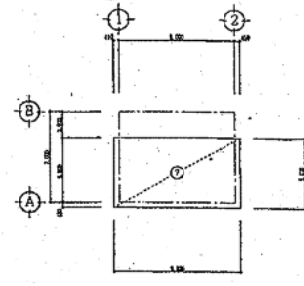
MB1階平面図 1/100



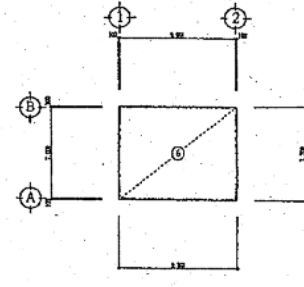
B2階求積図 1/200



水路階求積図 1/200



1階求積図 1/200



B1階求積図 1/200

凡例

▽	ピクトサイン
▽	窓
▽	マフホール #600 (防虫網)
⊗	戸穴開口 600P (防虫網)
⊗	FAP等

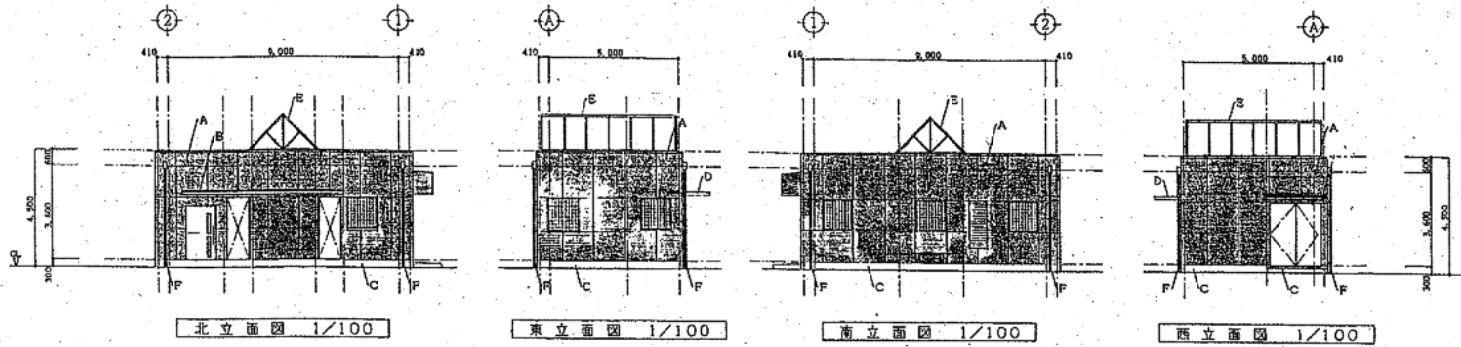
連絡面積

階数	凡号	長さ	幅	面積
1階	⑦	9.820	5.410	53.12610
連絡面積				53.13

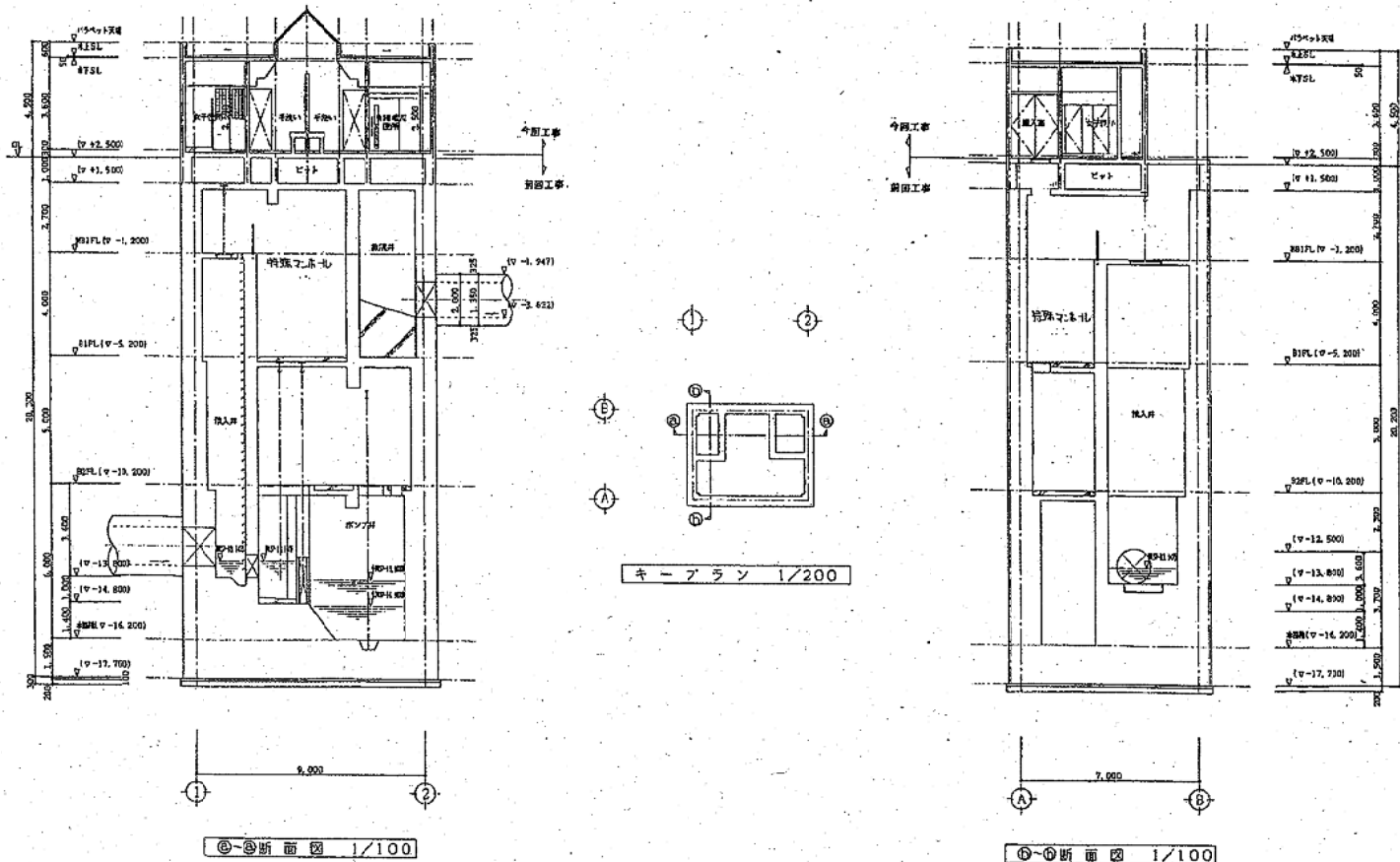
床面積

階数	凡号	長さ	幅	面積
水階	①	2.100	3.100	7.50000
	②	2.000	1.500	3.00000
	③	4.600	6.700	30.82000
		小計		41.32000
B2階	④	2.250	3.150	7.11250
	⑤	6.750	6.750	47.15625
		小計		54.26875
B1階	⑥	9.200	7.100	66.24000
1階	⑦	9.820	5.410	53.12610
連絡面積				215.01

(別紙-3) ①ポンプ棟2/3



仕上表	
Ⓐ	鋼鉄骨・コンクリート造
Ⓑ	コンクリート打設(Ⅱ) 特殊仕上(Ⅱ.Ⅱ)
Ⓒ	モルタル金平
Ⓓ	防食モルタル金平
Ⓔ	トランプライト (7mm厚)
Ⓕ	屋根 ステンレス鋼 6.0° (ステンレス鋼全面)





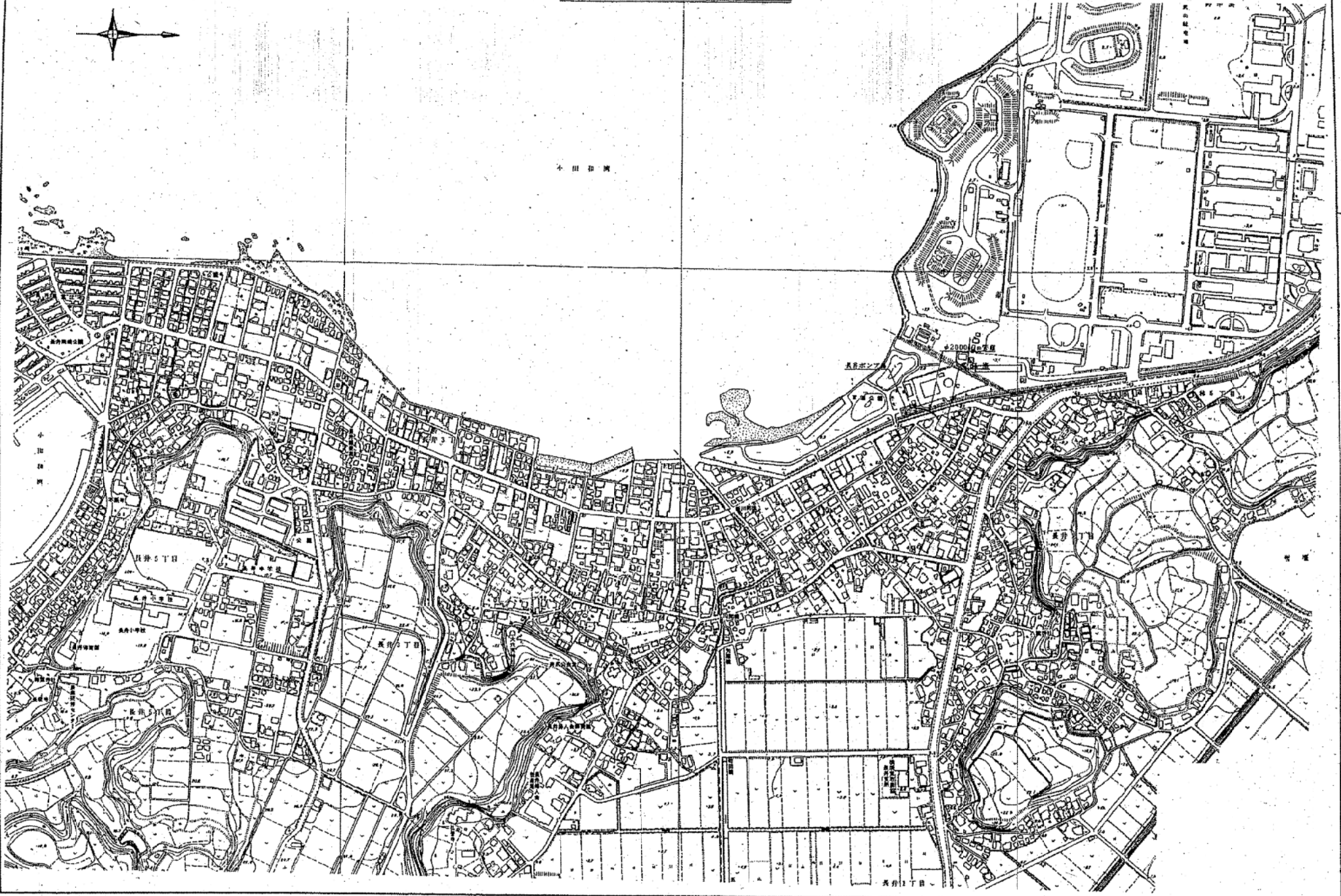


(別紙-3) ②配管用さや管1/2

位置図 S=1:2500

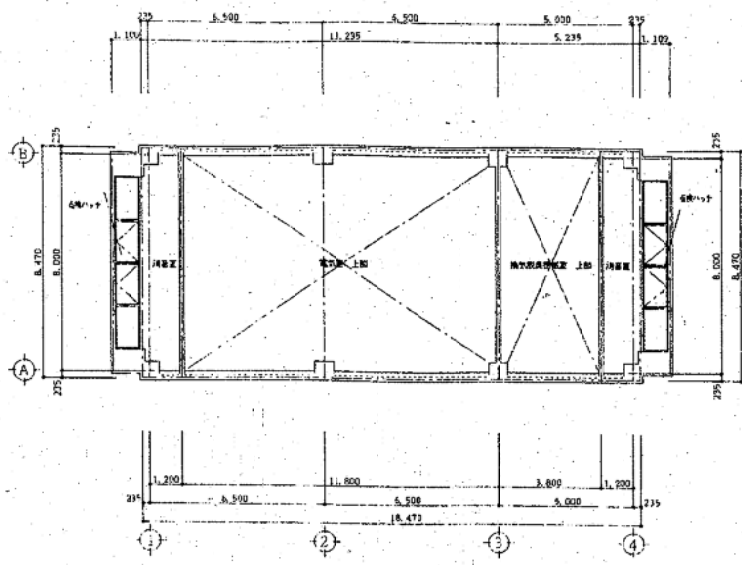


小田原

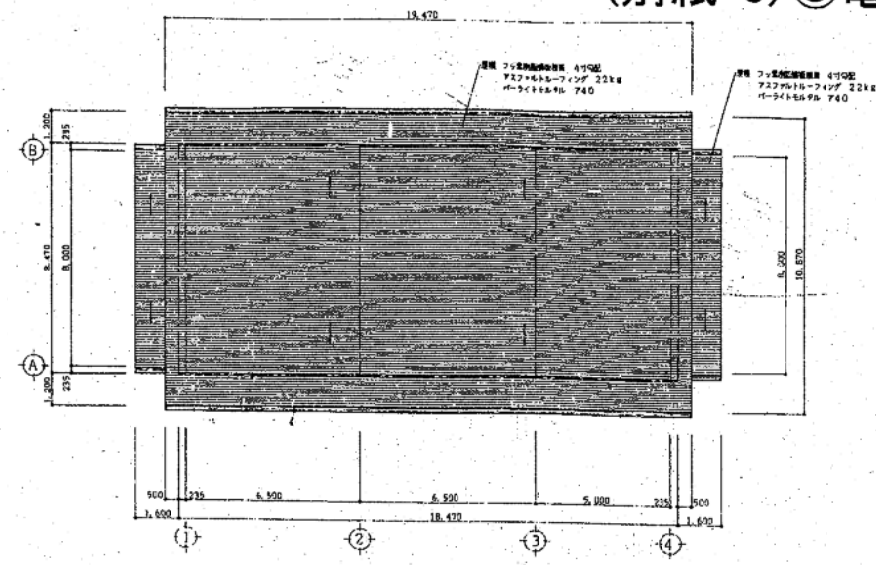




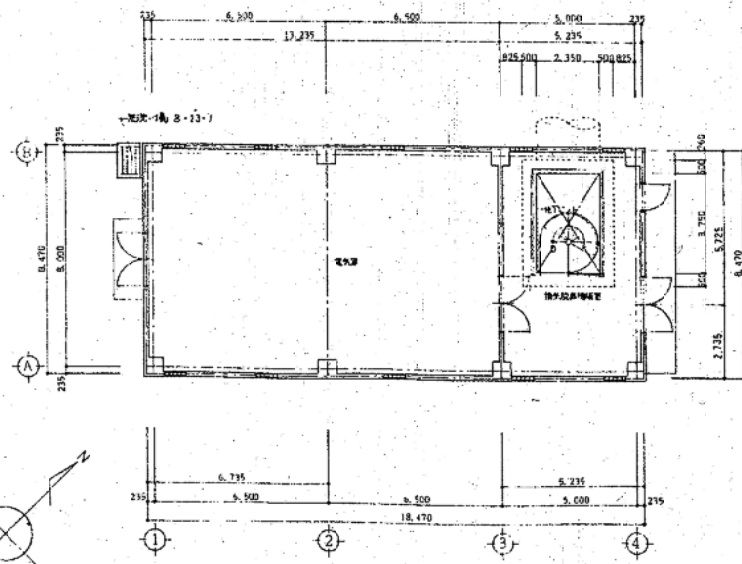
(別紙-3) ③電気棟1/5  
(参考)



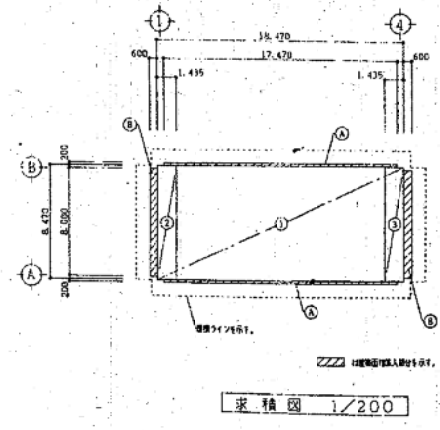
R階平面図 1/100



原相伏図 1/100



1階平面図 1/100

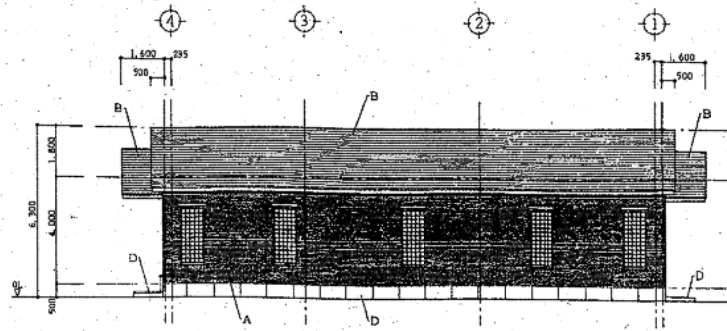


求積図 1/200

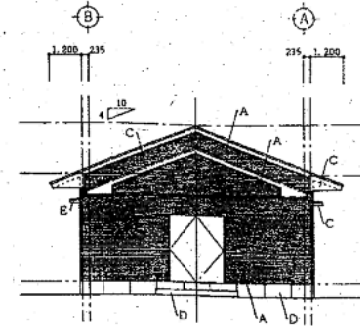
埋設品面積			
階数	符号	規定埋設	面積 (㎡)
1階	①	18.470 × 8.470	156.4490
	②	17.470 × 0.200 × 2	6.98800
埋設品計	③	8.000 × 0.600 × 2	9.60000
	小計		16.58800
埋設品積			177.02

床面積			
階数	符号	規定埋設	面積 (㎡)
1階	①	18.470 × 8.470	156.4490
	②	1.435 × 8.470	12.15445
R階	③	1.435 × 8.470	12.15445
	小計		24.30890
床面積積			180.74

(別紙-3) ③電気棟2/5  
(参考)

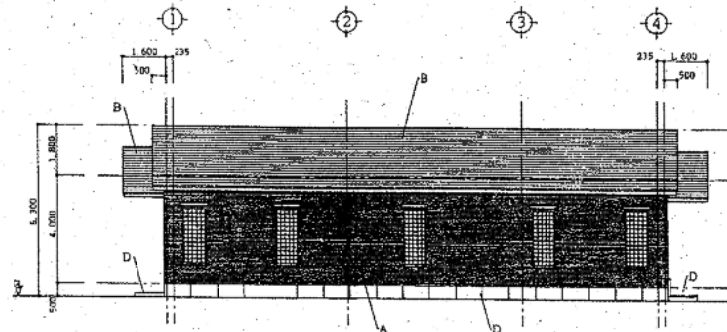


北立面図 1/100

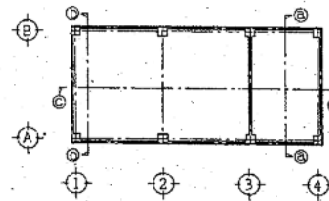


西立面図 1/100

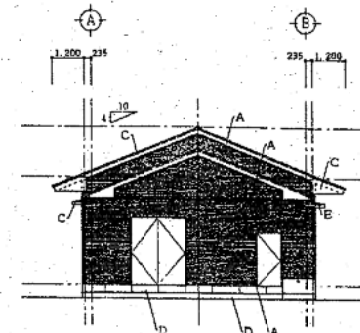
仕上表	
①	屋根葺き5二下タイル葺
②	フッ素樹脂塗料(アクリル系) 70.4
③	コンクリート打設(②) 軽量コンクリート(PE)
④	モルタル金ゴテ
⑤	フッ素樹脂塗料 71.2



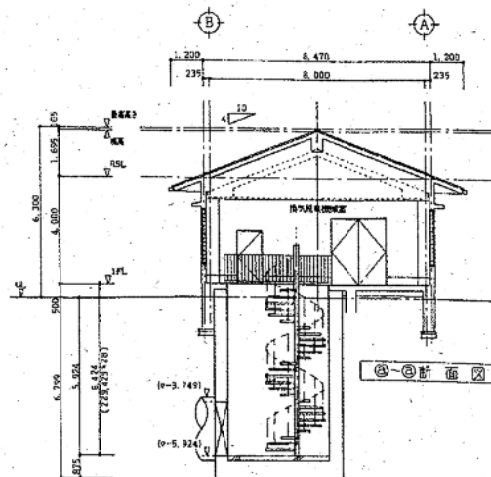
南立面図 1/100



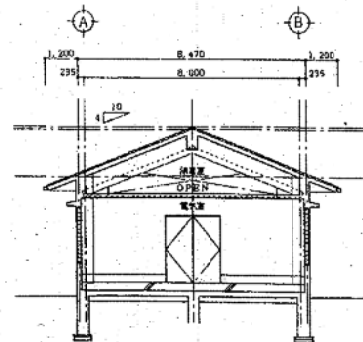
キープラン 1/200



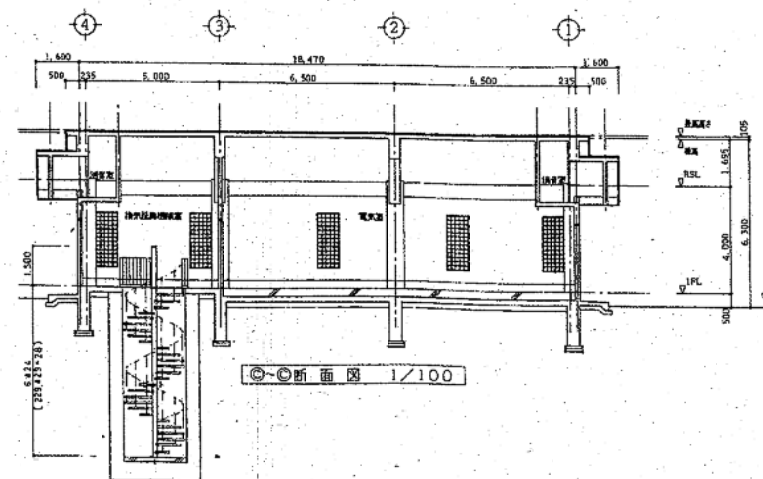
東立面図 1/100



①-①断面図 1/100



②-②断面図 1/100



③-③断面図 1/100

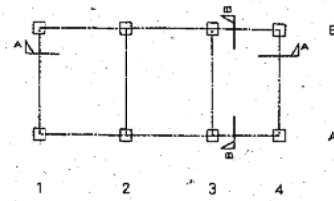
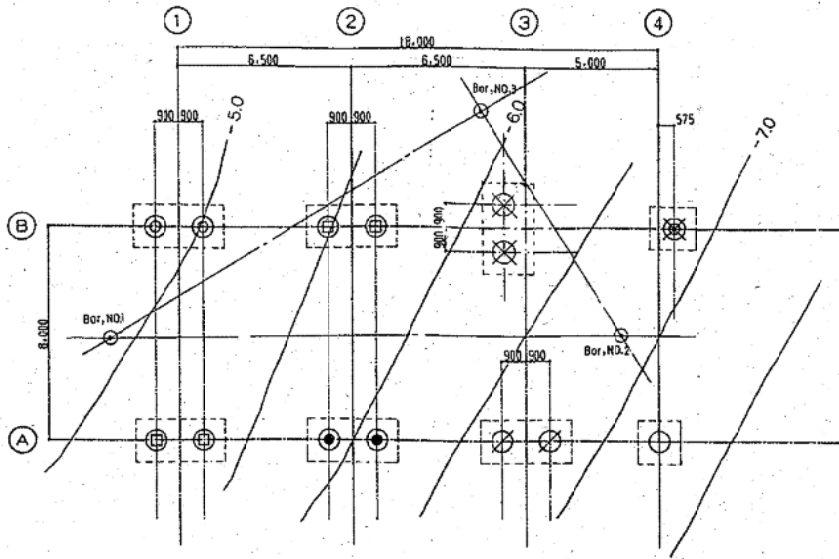






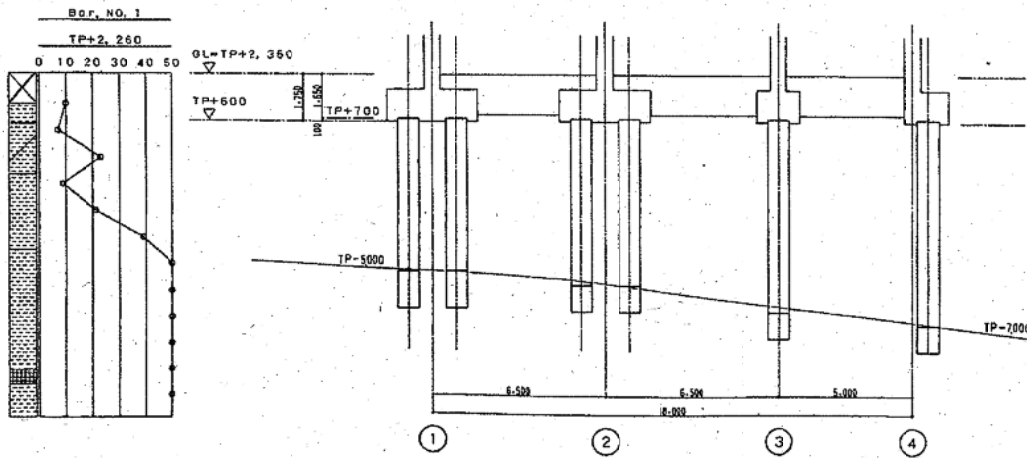
(別紙-3) ③電気棟5/5 杭種一覧表

(参考)

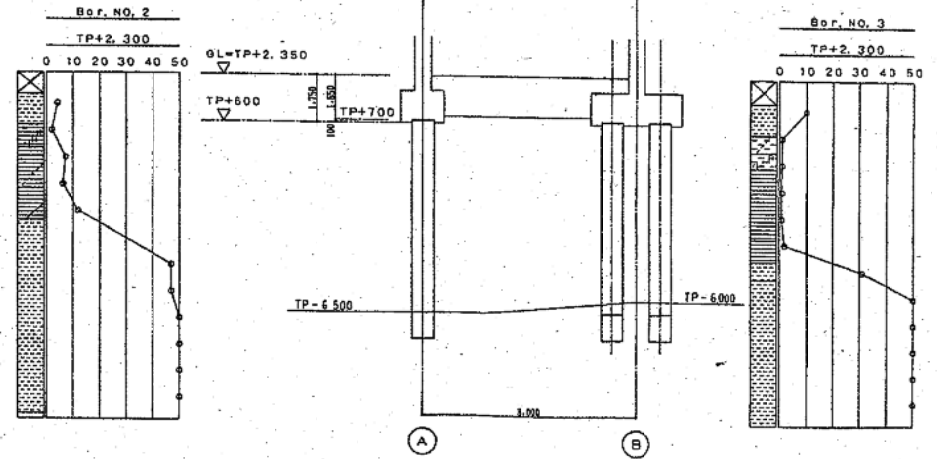


位置	杭径	本数	支持層レベル (M)	枕頭レベル (M)	挿入長さ (m)	杭長 (m)	備考
B-1	800	2	-5.00	+0.70	1.40	7.10	( $\beta L \geq 2.5$ )
B-2	800	2	-5.50	+0.70	1.00	7.20	
B-3	800	2	-6.50	+0.70	1.00	8.20	
B-4	800	1	-7.00	+0.70	1.00	8.70	
A-1	800	2	-5.50	+0.70	1.00	7.20	
A-2	800	2	-6.00	+0.70	1.00	7.70	
A-3	800	2	-6.50	+0.70	1.00	8.20	
A-4	800	1	-7.00	+0.70	1.00	8.70	

基礎杭支持層深度図 杭配置図 S=1/100



A - A 断面



B - B 断面

基礎杭断面図 S=1/100